



【継承と変革を未来への希望につなげる～個別最適・協働的な学びの深まり～】

校長 川村 和人

今年度も1か月が経ちましたが、令和7年度の本校教育活動に対しまして、保護者・地域の皆様には様々なご理解とご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。令和7年度の学校経営計画の概要版をPDFデータにし、載せております。併せて、詳細版と概要版を学校ホームページにて公開いたしますので、ご覧くださいませよう、お願ひいたします。

さて、私は、豊島区・江戸川区・江東区・日野市を経て、八王子市で7年間勤務し、令和3年度から本校の校長として着任し、5年目となりました。生まれは、墨田区向島。今は東京スカイツリーの町となっています。父親の仕事の関係で、小学生になるまで伊豆諸島の八丈島で過ごしました。今は、長房町が「第二のふるさと」と感じ、さらには、現在進んでいる「長房中学校区地域づくり推進会議及び長房の未来をつくる会」に関わる中で、「未来の長房」を楽しみにしているほどです。

そして、私は、自分が育った母校や地域での思い出は、大人になっても心に深く残るもので、子どもにとって、『小学校は心のふるさと』と考えています。

子どもは地域で育ち、やがて大人になります。将来は、生まれ育ったその地域または、新天地で暮らします。その時に、幼少時代を振り返り思い出されることは、小学校や地域で生活したことではないでしょうか。だからこそ子どもたちには、大人になっても「よいなつかしき」をもち続けてほしいと願っています。そしてその願ひは、私なりに教師としての責任と誇りにしなくてはいけないと、肝に銘じてきました。

小学生の私にとって地域との関わりといえば、夏休みの地域対抗ソフトボール大会に、6年間参加していたことです。これが、今も夏の思い出として「心のふるさと」となっています。私がこの大会に参加し身に付けたことは、野球が好きになり上手になったということではありません。

普段は地域のお店のおじさんであったり、友達のお父さんであったりする方々から指導していただいたこと、近所のおばさんや友達のお母さん方にお世話になったことを通して、たくさんのことを学んだのです。

その学びとは、感謝の気持ち、友達との協力、年上の人への礼儀、失敗してもあきらめずに努力すること、子どもも大人もみんなと一緒に何かを成し遂げる楽しさなどでした。家族も含め、友達や地域の方々との絆をもつことができたともいえます。その後、中学生以降もチームの練習の手伝いを続け、大学生となったときは、コーチ・監督を務めたり、秋祭りの準備にも参加したりすることとなりました。小学生の夏に学んだことは、「次は自分が地域のために役立とう。」という気持ちにつながったのです。

私は、身をもって地域のよさを体験したと、今も自分の「ふるさと」を身近に感じています。だからこそ、保護者・地域の皆様との連携を強め、子どもたちが学校と地域で学ぶことのよさを、学校・家庭・地域が共有することで、子どもも大人も「心のふるさと」として誇れる学校作りを行いたいと考えています。地域に開かれた連携における教育活動を進める地域運営学校として、児童に学ぶ楽しさを味わわせるため、地域密着型の教育活動を推進していきます。それは、専門的な知識及び技能を有する方々から体験的に学び、その人柄や生き様に触れることで、児童が郷土愛と自分の将来の夢をふくらませることが期待できるからです。

そして、地域の方々の学校教育への参画を推進し、教員・保護者・地域住民で「子どもを一緒に育てる」という協働意識を高めることをめざします。

ゆえに、子どもも大人も共にみなが参加し、共に知恵を出し合う新たな創造に向けて、学校運営協議会や地域推進会議等との連携を基に、地域の中で感じ、考え、行動するという「地域がステージの学び」を学校経営の主力方針といたします。

保護者・地域の皆様、引き続き子どもたちに、時には厳しくも温かい「目と声と手と心」をおかけくださいますようお願い申し上げます。



- 2・3年生・なのはな学級の消防写生会。
- 八王子市シニアクラブ連合会「船田友愛会」様から、手縫い雑巾を今年度もいただきました。



令和7年度 長房小学校 学校経営計画概要

令和7年5月1日
八王子市立長房小学校
校長 川村 和人

【経営方針の概要】

めざす学校像 「心の教育をめざす長房小学校」【継承と変革を未来への希望につなげる～個別最適・協働的な学びの深まり～】

【学校の教育目標】

◎よく考えやりぬく子○じょうぶで明るい子○なかよく助け合う子「地域運営学校として学校に関わる全ての人がウェルビーイングを実感できるために、【言われてうれしい言葉をつかい、みんなと仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校】を基に、人との関わりを見童のよりよい成長につなげる教育をめざす。」

①くめざす子ども像と長房中学校グループ(長房中・長房小・船田小)の児童・生徒像) ●長房中学校グループにおいて、「学習を大切にする子」「自他を大切にする子」「体を動かすことを大切にする子」を目標に9年間を見通してグループの全教員で、義務教育修了後『社会の中でよりよく生きようとする人』の育成をめざすために、直接的・間接的交流活動を進める。

②くめざす学校像) ●子どもが落ち着いて学べる学校(児童が、できる楽しさ・分かる楽しさを味わう学校) ●子どもが安心して生活できる学校(認められる楽しさを味わう学校) ●地域から親しまれ信頼される学校(保護者・地域住民の方々が、児童を安心して通学させ、自らも参画する学校)

③くめざす教師像)【目をかけ、声をかけ、手をかけ、心をかけ、適切に時・人をかける】5かけ指導 ●常に明るい笑顔で未来に生きる子どもたちに伸ばそうと前向きに挑戦する教師 ●一人ひとりが分掌のリーダー、フォロワーになり、チーム力で学校を創っていく教師。

○地域運営学校の一員として、保護者・地域の方と一緒に、子どもたちの力を育むために連携を図っていく教師。

【基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上】

●個別最適な学び及び協働的な学びの実現をめざして、1人1台学習用端末の日常的な授業での活用、基礎・基本の学習を適宜指導し、機器の効果的な活用や教材・教具の工夫による学習等により、論理的思考力を身に付けながら粘り強く学習に取り組む児童の育成を図る。

●児童一人ひとりの児童が「何のために学ぶのか」という学習の意義を他の児童と共有し、全ての教科等において、話し合ったり協働したりしながら学習する主体的・対話的で深い学びの授業改善を図る。

●八王子市学力定着度調査等の結果を踏まえ、基礎・基本の定着に向けて、東京ベアリング・ドリルや八王子ベアリング・ドリル、1人1台学習用端末のドリル型学習コンテンツ等を活用した授業での繰り返し学習等により、児童のつまずきに応じた指導を行う。

●高学年における教科担任制に向けた取組において、より質の高い教科指導、中学校教育への円滑な接続等を促進するとともに、多面的・多角的な児童理解の深まりに基づく学習の質を向上させることで教科指導の充実を図る。

●習得目標問題に特化した2回の八王子市学力定着度調査の実施と結果から、児童一人ひとりの実態を分析把握し、「はちおうじっ子ニママ」の活用、各教科等の見方・考え方を働かせる学習展開、基礎・基本の繰り返し指導、言語活動の充実、補習教室の設定等の改善策を明確にした取組を行う。

【健康、安全・安心】

●児童一人ひとりの健やかな体を育成するために、体力・運動能力・生活運動習慣等調査の結果を活かし、体育科の授業改善、体育集会活動の充実や外遊び等の奨励により運動の楽しさや喜びを味わわせる。また、運動の日常化を図るとともに基本的な生活習慣を身に付けさせ、家庭・地域・学校医等と連携した学校保健委員会での健康教育、栽培活動と連動した食育等を推進する。

●児童の発達段階や自己理解の傾向を十分踏まえた指導、問題行動の背景を理解し個別の実態に応じた丁寧な指導等を通して、粘り強く児童の声に耳を傾け、児童会の意見を取り入れた学校生活のきまりづくりや改善等、心に響く関わりをもち続ける姿勢を示すことで信頼関係を築くとともに、児童相互のより良い人間関係構築の模範を示す。

●「自分の命は自分で守る」を防災教育の基本とし、「生命(いのち)の安全教育指導の手引き」や「八王子市教育委員会生命(いのち)の安全教育」を基に、各段階別教材・授業展開例を活用し、児童が性犯罪・性暴力の被害者・加害者・傍観者にならないために全学年での発達段階に応じた指導を推進する。

●体力向上をめざし、体育科の授業の充実とともに、体育的活動を計画的に実施し、自ら運動を楽しむ態度を養う。そのために、オリンピック・パラリンピック教育レガシーを通して、「障害者スポーツの体験や障害者との交流による障害者理解」を充実させ、心のバリアフリーを身に付けた児童を育成する。

【豊かな心の育成】

●「あいさつをすすす・集中して話を聞く・時間を守る・物を大切に使う」等の規範意識を育て、次に使う人や相手の気持ちを考えた集団生活の基本ルールやマナーの徹底を図る。

●八王子市教育委員会いじめ総合対策と長房小学校いじめ防止基本方針を踏まえ、学校いじめ対策委員会を毎週木曜日に開催し、いじめ・不登校・児童の安全等の問題に対して、情報共有を基にした組織的な支援体制を構築するとともに、未然防止・早期発見・早期対応の徹底を図る

●不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、地域や家庭との連携を通して児童一人ひとりの実態や情報を共有し、全児童が人や地域とのつながりを持ち、所属感と承認欲求が満たされ自己有用感をもてるよう、児童一人ひとりの状況への必要な支援を行う。また、全児童の安心安全な魅力ある学校生活のための居場所や絆をつくることとともに、不登校児童の社会的自立に向けた多様な教育的機会の確保を行う。

●八王子市第五次特別支援教育推進計画に基づき、児童の個別の実態や特性に応じた生活や学習上の困難の改善、克服等のための適切な指導と必要な組織的支援について、学習環境の構造化や合理的配慮を行うとともに、全教育活動を通して各教科等の内容に関連付けた指導を行う。さらに、児童一人ひとりの学習や学校生活の充実とともに、児童が相互に思いやりの心育てる。